

日本学術会議地球惑星科学委員会 IUGG 分科会（第 26 期・第 2 回）議事要旨

1 日 時 令和 6（2024）年 10 月 24 日（木） 17:00～18:30

2 方 法 オンライン会議（Zoom）

3 出席者

（会員）佐竹 健治、中村 卓司

（連携会員）中村 尚、古屋 正人、久家 慶子、升本 順夫

（連携会員（特任））尾関 俊浩、辻村 真貴

欠席（連携会員）山岡 耕春

4 議 題

議事に先立ち、前回議事要旨（資料 1）および委員名簿（資料 2）の確認を行なった。

（1） IUGG 関連の小委員会の活動状況の報告

資料 3 をもとに、IACS、IAG、IAHS の各小委員会および関連学会内に設置された IAGA、IAPSO、IASPEI、IAVCEI に対応する委員会の開催状況や活動状況について、また IAMAS への対応活動について、各担当委員より報告があった。

（2） IUGG 関連の学協会の委員会の活動状況の報告

（2-1）佐竹委員長より、資料 5 に基づき、IUGG Member Countries Survey への回答が紹介され、期日までに回答したとの報告があった。

（2-2）佐竹委員長より、資料 6 に基づき、IUGG Year Book の内容を確認した。内容に関して修正があれば連絡して欲しいとの依頼があった。

（2-3）佐竹委員長より、資料 4 に基づき、地球惑星科学国際連携分科会の報告があった。各加入国際学術団体への加盟料は地球惑星分野がかなり多く、全体予算が減っている中で、加盟の必要性の明確な発信が求められている旨の説明があった。

（3） 国際学術団体に係る調査票（11 月 15 日締切）について

佐竹委員長より、資料 7 に基づき、調査票への具体的な記載事項について説明があり、内容の検討と修正を行なった。久家委員より、地球惑星関連研究は防災対策にも強く関わりがあるため、日本の防災対策に貢献できることを加えることにしてはどうかとの提案があり、加えることとなった。さらに加筆修正などがあれば、10 月中を目処に修正をすることとなった。

(4) その他

議題(2-3)に関連して、中村卓司委員より、2021 年に行なった学術フォーラムにて各委員会の活動を紹介したが、同様の学術フォーラムを 2025 年 7/8/9 月頃に開催することを検討中であるとの報告があった。

5. 配布資料

資料 1 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 (第 26 期・第 1 回) 議事要旨

資料 2 : 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会名簿

資料 3 - 1 : IACS 小委員報告

資料 3 - 2 : IAG 小委員会報告

資料 3 - 3 : IAGA (SGEPSS 対応委員会) 報告

資料 3 - 4 : IAHS 小委員会報告

資料 3 - 5 : IAMAS 対応報告

資料 3 - 6 : IAPSO (海洋学会委員会) 報告

資料 3 - 7 : IASPEI (地震学会委員会) 報告

資料 3 - 8 : IAVCEI (火山学会国際委員会) 報告

資料 4 - 1 : 地球惑星科学国際連携分科会 (第 26 期・第 4 回) 議事要旨

資料 4 - 2 : 地球惑星科学国際連携分科会 (第 26 期・第 4 回) 資料

資料 5 : IUGG survey 回答

資料 6 : IUGG Yearbook 名簿

資料 7 : 加入国際学術団体に関する調査票 (20241024 版)